



# 学校だより

7月号

横浜市立大道小学校  
令和元年6月28日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索 

校長 加藤 和之

## 「さわやかな風が吹く音楽朝会」

海開き、山開きのニュースが聞かれる時期になりました。皆様にはますますご清栄のことと存じます。学校では、4・5年生「愛川」、6年生「日光」の「宿泊体験学習」が無事終わり、先月の17日（月）には「プール開き」を行いました。いよいよ夏の到来！ということで、プールには子どもたちの元気な声が響いています。

しかし、この時期になると気になるのが「熱中症」です。ご記憶の方も多いと存じますが、今年の7月は異常とも言える暑さで、全国で熱中症による死者が多数出ました。それをふまえ、本校でも市教育委員会の「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」に沿って、子どもたちの健康状態を注視していきたいと思えます。具体的な対策の一つとして、市教育委員会より提供された「WBGT計」を活用していこうと考えています。これは、暑さが子どもたちに与える影響（暑さ指数＝WBGT数値）を計測する機器ですが、その数値が高い場合には運動を中止するなどの措置をとることとします。暑い中でも子どもたちが安全に生活できるよう、配慮していきたいと考えています。

さて、本校では月1回「音楽朝会」を行っています。月ごとに「今月の歌」が決まっています。普段は各クラスで歌っているのですが、それを全校で歌うのが「音楽朝会」です。4月の「今月の歌」は、大道小の「校歌」でした。まず全員の前で6年生が歌ったのですが、歌う姿勢、口の開け方、高音の出し方など、お手本となるような姿、歌声でした。それを聴いた下級生も、6年生に習うように歌い、素晴らしい「校歌」が体育館に響きました。そして、6月の「今月の歌」は「赤い屋根の家」でした。

- 1 電車の窓から 見える赤い屋根は 小さい頃ぼくが 住んでたあの家  
庭にうめた柿の種 大きくなったかな クレヨンの落書きは まだ壁にあるかな  
今は どんな人が 住んでる あの家
- 2 背のびして見ても ある日赤い屋根は かくれてしまったよ ビルの裏側に  
いつかいつか ぼくだって 大人になるけど 秘密だった近道 原っぱはあるかな  
ずっと 心の中 赤い屋根の家

この曲は「4分の3拍子」の曲です。指導をリードした先生は、「1・2・3」の拍を意識すること、それを滑らかな流れに乗せて歌うとよいこと、体を左右に揺らすと拍に乗りやすいことなどの助言をしました。するとどうでしょう、子どもたちの歌声は一段とよくなり、まるで蒸し暑い体育館に、さわやかな風が吹いてきたように感じるほどでした。これは、音楽朝会での指導だけでなく、普段から各教室で歌っている成果なのだろうと思えます。私は大道小の子どもたちの歌が、大好きになりました。

曲や歌詞の良さを自分なりの感性でとらえ、それを表現する「音楽」は、子どもの「心」を育てる上でとても大切だと思えます。これからも、「歌声の溢れる大道小」でありたいと思った「音楽朝会」でした。